

【5】 小学部の生活単元学習

本校の小学部では、研究テーマを深めていくために、「生活単元学習」に焦点を当てた授業実践に努めている。ここでは、生活単元学習の考え方とその概要について、述べてみたい。

[1] 生活単元学習を考える

生活単元学習を考えていく上で、生活単元学習や総合的な学習に関する書籍等を再度読み深め、その学習会からテーマに沿った本校なりの生活単元学習を構築するための意見を出し合った。

〈書籍に対する共感、疑問点を含めた主な意見〉

- ・卒業後の生活の準備のためだけに今を生きてほしくない。
- ・現在の生活が充実・発展して、自然に卒業後の望ましい生活につながるようにしたい
- ・ADLからQOLへ。がんばる生活だけでなく、やすらぐ生活も必要である。
- ・子どもが学校生活に自主的、主体的に取り組めるようにすることに力を入れたい。
- ・子どもの思いに共感し、それを大切にしながら、細かな支援のできる教師でありたい
- ・教師は命令者、指示者でなく、支援者に。—— 教師の意識改革が必要
- ・思考の過程を重視する、できる状況づくりをしていきたい。
- ・思い切り楽しむ生活単元学習であっても、知識や技能は必要である。
- ・単なる経験主義に陥らないよう、生活単元学習の中で、知識や技能を習得していくプロセスや積み上げを大切にしたい。

◎以上のような意見を基に、生活単元学習について次のように共通理解した。

一人ひとりの子どもの学校生活の充実・発展を図り、子どもたちの自主的、自立的な生活づくりをしていける「生活単元学習」を大切にしたい。そして、生活単元学習をよりよいものにしていくことで学校生活の質を高め、子どもたちの生活を豊かにし将来の豊かな生活へとつなげていきたい。

そのためには、子どもたちが「楽しむこと」を大切にするのは勿論だが、教師は、発達段階を加味した「自分づくり」を意識し、適切な支援をしながら思考の過程を大切に学習を展開していきたい。また、“知識や技能の習得も生活を楽しむためには必要である”という考えから、個に応じた教科や領域の系統性も意識した取り組みを進めていきたい。

このような生活単元学習を実践していくに当たり、現在の小学部の学校生活、教育課程について、次のような反省点も浮き上がった。

- ・現在の1日の日程が過密すぎて、子どもたちの背中を押していないか。
- ・クラス単位で行動することが多いが、個の実態に応じきれない部分はないか。
- ・子どもたちの実態に寄り添える、もっとゆったりとした教育課程の編成、単元設定の

計画を考えていく必要がある。

以上のような反省点も考慮しながら、今年度の生活単元学習の授業実践に取り組んでいくことにした。

[2] 基本的な方針

(1) 子ども主体で

- ・子どもの生活を大切にする
- ・子どもが求める、自ら起こす、必要とする活動を多く取り入れる
- ・学習活動と生活活動の一体化を図る

(2) 生活単元学習でよりよい生活を

- ・今日に満足し、明日を楽しみに待つ生活を
- ・先生や友だちと生活の共有を図り、好ましい共同生活を
- ・テーマに沿って整えられた学校生活を
- ・学校生活の充実・発展を、将来の望ましい生活へ
- ・豊かな心を養い、自主的・主体的に生活する力へ

(3) 単元（題材）設定には細心の注意を

- ・子ども主体の活動を取り入れて
- ・一人ひとりが自分の力で活動し、仲間と共に取り組めるように（同一教材複数課題）
- ・存分に活動し、大きな満足感・成就感を分かち合えるように

[3] 生活単元学習で大切にしたい内容

発達段階及び研究テーマの趣旨から考え、小学部の生活単元学習では、特に次のような内容を大切にしていきたい。

○人間性を育てるために（楽しみをみんなの中で育てる）

先生や友だちとかかわり合う遊びや活動、簡単なルールや約束のある遊び
楽しみが共有できる活動、ごっこ遊び、みたて・つもり活動

○豊かさにつながるものとして（楽しみを教える、広げる）

造形や調理活動、表現活動、遊び、文化的なもの（音楽、運動も含む）に親しむ活動

[4] 単元を選ぶ時の観点、条件

- ・子どもたちの生活場面から発展し、子どもたちが強い興味、関心をもつもの
- ・集団で一定の方向をめざした取り組みができるもの
- ・自己決定や自己活動が取り入れやすく、子どもたちの思いに寄り添いやすいもの
- ・テーマに向かって一定期間、心を燃やし続けられるもの
- ・文化的なもの、人間的に豊かなものに触れる機会がつけられるもの
- ・子どもたちの心理的、身体的、社会的発達水準に合っていて、経験の拡大につながるもの

るもの

- ・思考の過程をくぐりながら、成功感や成就感に結びついていけるもの
- ・知識・技能の習得のみでなく、社会生活をする上での望ましい態度や習慣形成をめざせるもの

[5] 生活単元学習の年間指導計画 (平成9年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1組	友だちをむかえる会 みんななかよし	おかあさんおとうさん	なつだなつだ	なつまつり	夏休み	うんどう会	いもほりしゅうほく	ふようぶんかさい	なかよしパーティー	冬休み	ぼんぼこひろばであそぼう	6年生をおくる会 いっねんかんのおいで
2組	みんななかよし	おうちのひとのしごと	なかよし宿泊	なつだなつだ		うんどう会	わくわくしゅうほく	ふようぶんかさい	なかよしパーティー		きてきて! わくわくらんど	いっねんかんのおいで
3組	みんななかよし	なかよし宿泊	なつだなつだ	なつまつり		うんどう会	修学旅行	ふようぶんかさい	なかよしパーティー		思い出公園で楽しもう	一年間の思い出

《行事単元が多い理由》

- ・大切にしたい学習内容が取り入れやすい
- ・目的がはっきりしていて、楽しみや見通しが持ちやすい
- ・取り組んだことが、自分たちの生活としてはね返ってくる緊迫感もてる
- ・季節や時期をタイムリーに活用できる
- ・過去に経験することが多く、経験を生かしたり、見通しを持ったりできる

(小坂祥子)